

北から、西から、皆さんお久しぶりです。



◀外川会長(右から2人目)と名コーチ陣(中程3名)。

▲「新しい活動は……」篠原ホテルでの熱の入った討議。



▲「車の調子はいかがですか」本部前に全国から集まった競技車、18台。



**CMSC 青森**  
鶴ヶ谷慶市  
(会長)



**CMSC 帯広**  
石崎一彦  
(運営委員長)



**CMSC 山形**  
小川日出生  
(会長)



**CMSC 岩手**  
佐々木学  
(会長)



**CMSC 札幌**  
清水勝一  
(事務局長)



**CMSC 岐阜**  
浅井博孝  
(会長)



**CMSC 福島**  
菅野茂  
(会長)



**CMSC 島根**  
杉坂啓一  
(会長)



**CMSC 栃木**  
松本珪典  
(会長)



**CMSC 群馬**  
荒井信介  
(会長)

**CMSC 香川**  
田中昭男(会長)  
イベント開催のため欠席  
ご結婚  
おめでとうございます。

のロングセクションもあり、非常に楽しめる設定である。

このラリーで神岡Zを逆転するには、4位以上でおかつ神岡Zの前に位置しなければならないことになる。まずはZの前に出ることだ。

軽い足慣らしの感じの第1ステージ、楽にのれるアベレージであるが、バスコンも多く補正に忙しい。区間距離の出方がマチマチで、嫌な予感がする。案の定、ローアベの短い区間で大幅に補正が狂っている。長い区間は苦勞してあわせたのに、ほんの数キロの区間で10秒近くも狂っているところがあり、頭を抱えてしまう。これに対して、神岡チーム、中原ナビは抜群の牙を見せて、第1ステージ断トツ。2ステで挽回するしかない。

2ステも同じように、ギリギリのれるアベが続く。雨の中、多くのチームがバーストを起こしている。我々も気をつけなくては、ハイアベのバースト

は命とりだ。とっているうちに、このラリー唯一のれなれないハイアベ区間の中程で、なんとバースト!! 目の前が真っ暗になってしまった。約40秒のロス。致命的ロスである。残りの区間に勝負をかけるしかない。しかし、このラリー、あまりにオーソドックスすぎここ一発の山勘勝負の区間がない。残すは3ステのSSのみ。SSは1秒×1.5倍となるので、一発勝負をかけるしかない。

場所は赤谷林道。前半はフラットなハイスピードコースでスタリオン向きだ、と思っていたのだが、後半がなんと道路工事中と雨のせいで泥沼地獄。まるで前へ進まないコースとなっていた。ここでは練習のかいあって!? ゴーチンと誠選手がぶっちぎりで速い。赤谷林道の往復がSSで、その他2~3のラリー区間でゴール。

ついに神岡Zには届かなかった。5位までに入賞すればシリーズ2位であ

る。しかし、運に見はなされた羽豆選手、5位と0.5点差で6位となり、これでシリーズポイントは計308点。310点の誠選手、313点のゴーチンに先をこされて4位に終わってしまった。

ラリーに“もし”は禁句であるが、第1戦のマシントラブル、第2戦の一般車のスタックがなければ、'85年はいい年であったのに、と思う次第である。

### 今年チャンピオンを目指します。

まあこんな感じで、'85全日本戦も幕を閉じ、デビュー即チャンピオンのZ、2度目のチャンプの神岡選手、若手代表として今後も頑張ってもらいたいものである。そして我らADVANチームは、RACラリーに向けて全開。もっとも時間と予算の都合で今回

は2台しか準備できなかったもので、羽豆ドライバーは留守番に回り、今年に期待をかけることとなった。伸弥、大庭先生の走りに期待するしかない。

そして今年であるが、例によってADVANチームの予定は未定である。まずはRACに全力投球となるので、今年のことそれが終わってからとなった。ファミリアの4WDも出てくるし、今シーズンはなかなかおもしろい年になりそうである。しかし、もうそろそろこの辺で、チャンピオンを目指さなくては!! 今年も皆さんからのご声援を期待しています。(CMSC本部 田口雅生)





1985年 JMRC 全ラリーチャンピオンシリーズ 第8戦  
**岩手三菱ダイヤモンドラリー**

協賛 岩手三菱自動車販売株式会社  
主催 コルトレータースポーツクラブ岩手

スタートする富士選手のランサー



岩手三菱白飯(株)白土 社長(当時)のあいさつ

CMSC 岩手 主催

岩手三菱ダイヤモンドラリー('85JMRC 東北ラリーチャンピオンシリーズ第8戦)：10月12日(土)～13日(日)

走りを存分に楽しめるラリーが大好評

岩手県盛岡市近郊で開催された岩手三菱ダイヤモンドラリー。霧雨の降るあいにくの天候ながらも、シリーズ最終戦ということで大

勢のエントリーがあり、活気あふれるスタートとなりました。

佐々木会長が設定した2ステージ、約300kmのコースは、走りを存分に楽しめるもの。アクセル全開のラリーに皆さん満足顔。表彰式にはピアノなどの豪華商品が並び、大好評のうちに幕。

今年も東北シリーズを2戦、ダートトライアルを1戦主催する予定とか。沢山の参加者が期待されます。

天隆山薬学院での表彰式 CMSC 曹森の富士選手(マイク)は4位



'85CMSC 山形ダートトライアル (山形県ダートトライアルシリーズ第5戦)：10月27日(日)

CMSC 山形 主催

BIIクラスでコルディア4WDが優勝!

山形県西川町の特設コースで開催された、'85CMSC山形ダートトライアル。2年ぶりとして、CMSC山形の会員は大忙しの大活躍。そのかいあって、雨の中を95台以上の車が参加、ギャラリーも大勢集まり大盛況。CMSC本部の外川会長や篠塚建次郎さんも出席して華々しく行なわれました。

結果はBIIクラスで鈴木一彦選手(チームラックス)がコルディア4WDを駆って優勝/篠塚建次郎さんのデモ走行もあり、大成功をおさめました。

近くに新しいダートコースも完成する予定とか。“多くの若い人を楽しんでもらいたい”と語る小川会長。これからは楽しみます。



外川会長(マイク)のあいさつ



BIIクラス見事優勝。鈴木コルディア4WD



国際リスト、篠塚建次郎さんのサイン

CMSC 栃木 主催

'85スリーダイヤモンドトライアル(栃木県ダートトライアルシリーズ最終戦)：11月17日(日)

創立10周年、これからもガンバります

栃木市郊外の砂利採石場跡地で開催された、'85スリーダイヤモンドトライアルは、好天に恵まれ、エントリーも118台。遠く岩手県から

駆けつけた選手もいて大盛況のうちに終わりました。三菱賞の1位に輝いたのが霜田秀夫選手(クラブ秋水)、2位が斉藤浩幸選手(クラブスプリント)、3位が針谷勝美選手(クラブ秋水)。3人共ランサーで快走しました。

“賞品は家庭サービスと考えて、テレビや電子ジャーなどを選びました”と語る町田事務局長。入賞者には大好評だったそうです。

またCMSC栃木は今年で創立10年目。総会を兼ねて記念行事を企画中だとか。一致団結、ますます楽しいクラブにしていこうです。



三菱賞1位、霜田秀夫選手のランサー



三菱賞に輝いた(左から)霜田、斉藤、針谷3選手



栃木の人はダート好き? 楽しさあふれる大会風景

'85CMSCダイヤスターラリー：11月2日(土)～3日(日) 第8回KUACダートタイムトライアル：11月23日(土)

CMSC 香川 主催

今年はラリー2戦、ダートトライアル2戦を主催!

'85JMRC 四国ラリーチャンピオンシリーズ第9戦として開催された、CMSCダイヤスターラリー。スタックした車が出たものの、無事終了。好評を博しました。



ダイヤスターラリーで三菱賞に輝いた多田(左)/中川組

その後香川スポーツランドで開催されたKUACダートトライアル。香川大自動車部をCMSC香川が後援する形で行なわれ、すでに4、5年続いているイベントだそうです。

他の大学の自動車部の参加に加え、一般の選手も多くエントリー。和気あいあいとした雰囲気で行なわれました。BIIクラスでは白井

修選手の駆るランサーが優勝、これからの活躍が楽しみです。今年にはラリー2戦、ダートトライアル2戦を主催する予定とか。ラリーの原点に戻って、若い人々を育てていこうです。



ダイヤスターラリーで快走! 多田/中川組ランサー